

新型コロナウイルスの第6波が広がってきている中ですが、登校している子ども達は寒さに負けず、元気に過ごしています。

本日、2月の全校朝会をTV放送で行いました。冒頭に様々な場面で活躍した児童に対して表彰式がありました。その後私の方から以下のことについて話しました。

おはようございます。寒い日が続いていますが、みなさん元気ですか。

このところまた新型コロナウイルスが広がってきていて、心配な子もいることと思います。ちょっとした具合が悪いと思ったら無理せずお家の人や先生に伝えてくださいね。

さて、今日みなさんに話したいことは、「言葉の力はすごい」ということについてです。

先日、校長先生が正門の前に立ってみなさんを迎えている時のことです。ある子に「おはようございます。寒い中、よく来たね」と声をかけたところ、その子が、「校長先生、寒いと思うから寒くなるんですよ。寒くないと思えば寒くありませんよ。」と、とても明るく返してくれました。校長先生は、驚いたと同時に、はっとしました。校長先生自身「寒い。寒い。」といいながら正門の前に立っていたからです。

昔から日本では「言葉は言霊」と言って、自分の口から発する言葉は実現する力を持っていると考えられていました。そんな馬鹿な、と思う人もいると思いますが、それが、近年様々な研究から明らかになってきています。日本の優れた脳科学者の茂木健一郎さんは、「脳がときめく言葉の魔法」という本の中で、「言葉には、実際に人生を変える力がある」と書いています。人間の脳は、「言葉」によって、まるでマジシャンの手品のようになり、自分自身にマジックをかけることができ、そのマジックによって、大きく変わることができるそうです。

言葉の力、本当かな？と思っている人達、ちょっとこの写真を見てください。

これは、小学生が夏休みに実験したものなのだそうです。

2つの瓶に炊いたご飯を入れて、片方には「ありがとう」という言葉を毎日言い続け、片方には「ばかやろう」という言葉を毎日言い続けた結果がこれです。どちらが、どっちだかわかりますよね。

そう、左が「ありがとう」と言い続けた瓶で、右が「ばかやろう」と言い続けた瓶だそうです。「ばかやろう」と言われた「ご飯」は、腐敗して「真っ黒」になり、「ありがとう」と声をかけた「ご飯」は、発酵して麴のような香りになったそうです。

言葉の力、すごいですね。

校長先生も、「寒い。寒い」と言わず、「寒くないぞ、負けないぞ」といってほしいと思います。みなさんも「ありがとう」や「すごいね！」「かっこいいね！」「一緒に遊ぼう！」など、言われたらうれしくなるような言葉を使ってほしいと思います。そういう言葉を使える人は、まわりからもそういう言葉を言われるようになりますよ。

この後、児童会から今月の生活目標「友達と仲良く遊ぼう」について呼びかけがありました。

言葉遣いは、人と人のコミュニケーションを築いていく上で大切なファクターであると思います。地域や家庭でもこういう言葉が交わされる環境であってほしいと願っています。

地域の方・保護者の方の御協力をお願い致します。